

# 2021年 3月期 第1四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2020年8月7日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2021年3月 第1四半期期 決算 ハイライト

単位：百万円	前期	当期	増減
売上収益	3,067	2,924	▲ 143
営業利益	▲244	▲229	+ 15
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲261	▲256	+ 5
資本合計	905	1,126	+ 221
純資産比率	9.0%	12.2%	+ 3.2%

## ■ 売上収益

- 音響機器、情報機器は減収、その他セグメントは増収となり、全体で▲143百万円の減収となった。減収の主な要因は新型コロナウイルスの影響である（新型コロナウイルスの影響はページ5参照）。

## ■ 営業利益

- 減収により売上総利益減となったものの、販売費・一般管理費の削減により営業利益（損失）は+15百万円改善した。

## ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

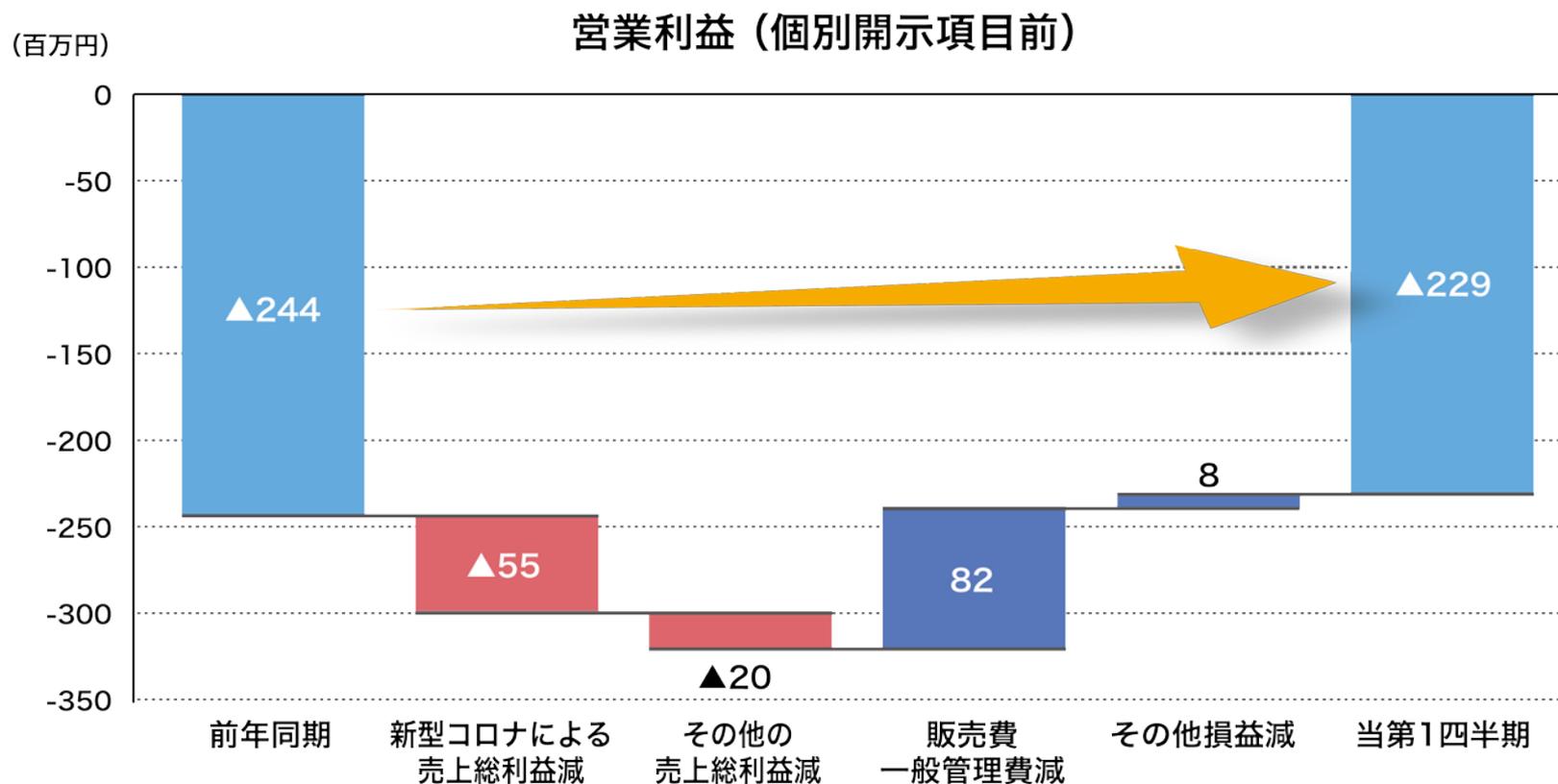
- 営業利益（損失）の改善に伴い、親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）も+5百万円改善した。

## ■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に905百万円であった資本合計（純資産）は、当第1四半期末は1,126百万円と+221百万円増加し、純資産比率も12.2%と+3.2%改善した。

# 営業利益（個別開示項目前）

- 本業の業績を表す営業利益（個別開示項目前）は、新型コロナウイルスによる売上減、売上総利益減に対し、販売費・一般管理費、その他損益を削減したことにより+15百万円改善した。

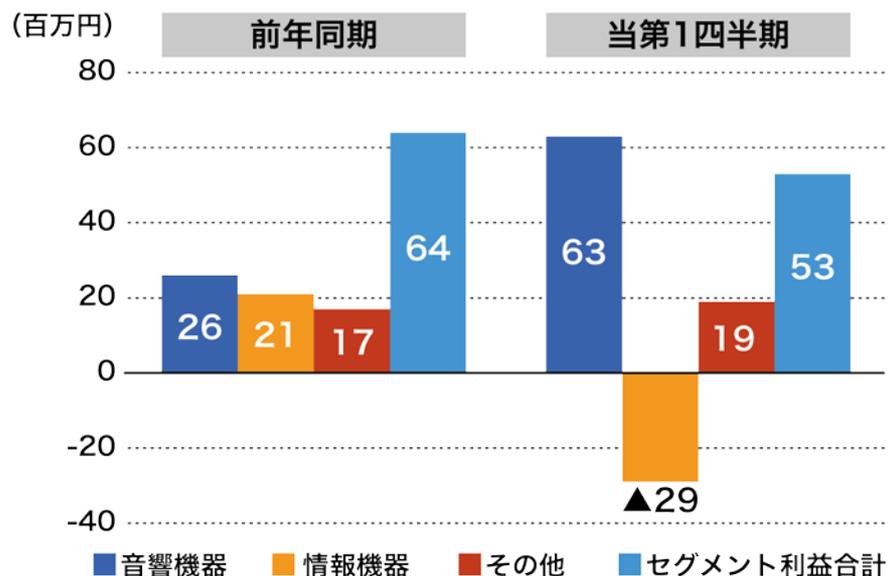


注：「新型コロナによる売上総利益減」は、直接見積もることができた売上に基づく金額のみであり、それに伴う市場の変化、消費マインドの低下等は含まれておりません。

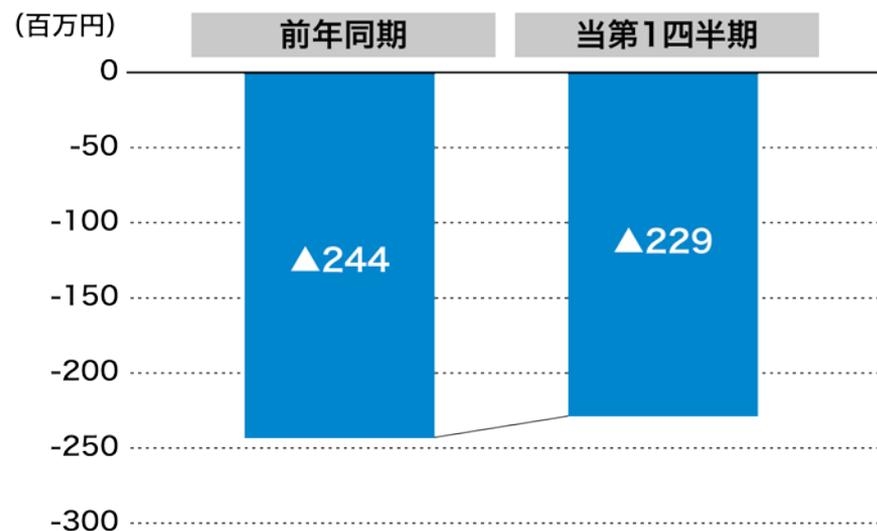
# 事業別セグメント営業利益・全社営業利益

- 音響機器：全体として減収となったものの、販売費の削減により増益。
- 情報機器：航空機搭載用記録再生機器、医用画像記録再生機器の減収により、全体で減益。
- 全社営業利益：減収となったものの、全社共通費の削減により、全社営業利益は前年同期よりも改善。

## 事業別セグメント利益

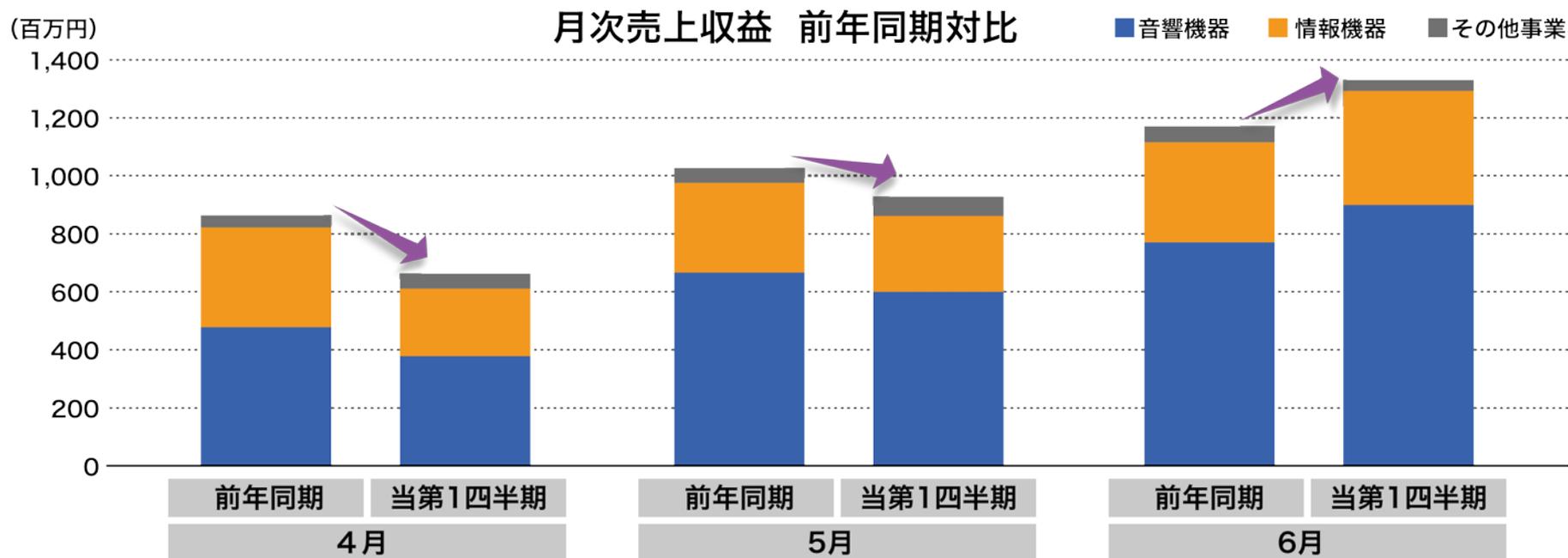


## 全社営業利益



# 新型コロナウイルスの影響

- 全社売上収益は、4月は外出自粛の影響を大きく受け▲23%の減収となったが、自粛解除後、5月は▲10%の減収、6月は+14%の増収と回復傾向にある。
- 音響機器: 高級オーディオ機器・一般オーディオ機器は、4月の国内外販売店の一時閉鎖、ロックダウンの影響で一時的に売上減となったが、5月以降巣ごもり需要もあり回復基調にある。音楽制作・業務用オーディオ機器は、ライブ等のイベント自粛に伴う需要減はあるものの、マルチトラックレコーダー、オーディオインターフェース等は巣ごもり需要増で、全体としてプラスの影響を受けている。
- 情報機器: 医用画像記録機器は、クリニック等の新型コロナへの設備投資のシフト、機内エンターテインメント機器はLCC業界の低迷の影響を受けているが、計測機器は大きな影響を受けていない。



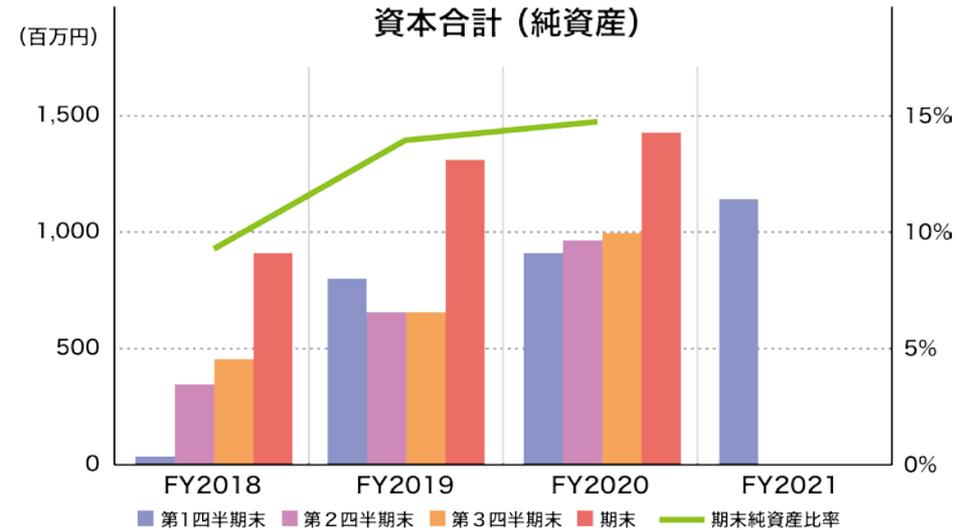
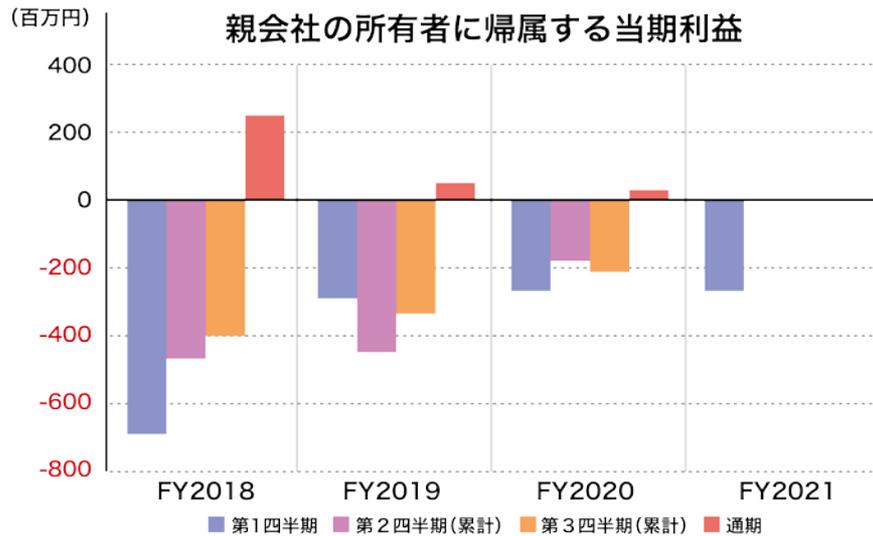
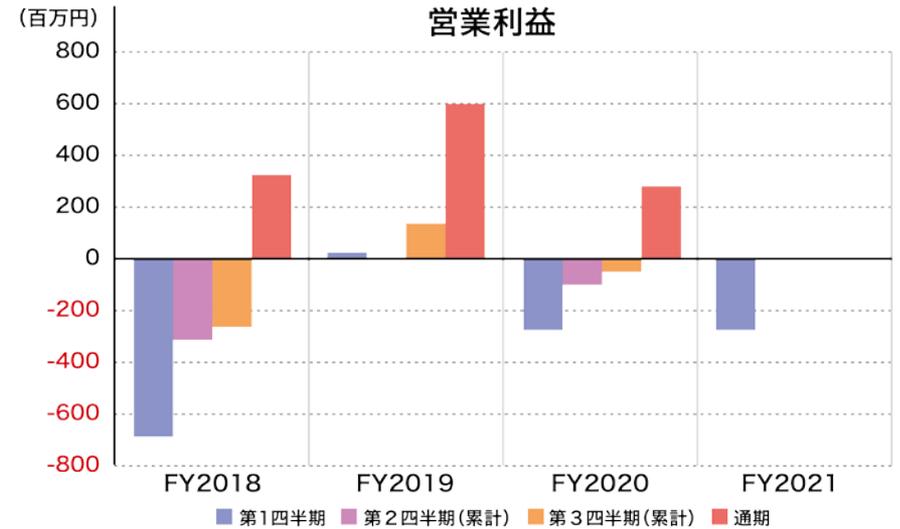
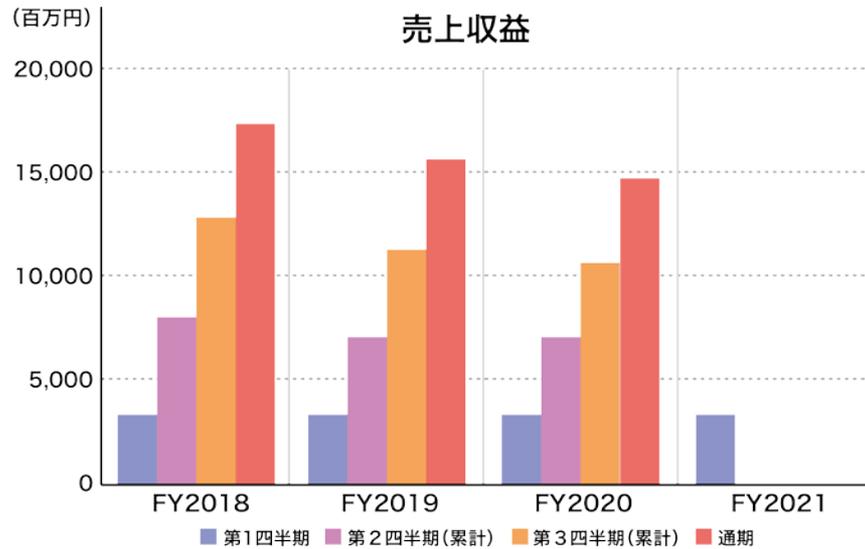
当期の見通しは、新型コロナウイルスの影響が不透明であることから引き続き未定とさせていただきますが、ポイントは以下のとおりです。

なお、当期の見通しは、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

- ✓ 前期（2020年3月期）は、新型コロナウイルスの影響もあり、営業利益（個別開示項目前）で減益となったものの、当期利益の3期連続計上により収益安定化が定着。当期も、引き続き安定的な事業成長をめざし、BtoB事業への投資の一層拡大を計画
- ✓ 「BOX + SOLUTION」戦略\*による成長  
業務用オーディオ機器および情報機器は、ネットワーク接続（IoT、Cloud、Audio/Video Streaming等）を、エンドユーザーに提供する付加価値の中期的コア技術と位置付け、積極投資する
- ✓ アジア市場における事業拡大  
アジア市場、特に中国市場を攻略市場とし、事業拡大へ投資配分比率を上げる

\* 「BOX + SOLUTION」戦略： 機器の開発・販売に留まらず、クラウド・IoT・5G等の新技術がもたらす利便性を、ユニークなソリューションとしてエンドユーザーに提供し顧客満足度を高めることで、BtoB事業の安定的な成長を目指すもの

# 売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

### • BtoB製品

欧米設備市場での持続的成長へ、商品ラインナップに音響機器のみならず映像関連製品を加えることで、システムインテグレータ並びにエンドユーザーにワンストップソリューションを提供できるブランドを目指す。

NEW



Model 16 16トラック ライブレコーディングミキサー

NEW



Model 12 12トラック ライブレコーディングミキサー



AE-4D 4 AES/EBU入出力Danteコンバーター

- 会議室（企業）
- 文教（視聴覚教室・講堂・体育館）
- アミューズメント施設・劇場
- ホテル・宴会場
- 店舗・商業施設
- 放送局・レコーディングスタジオ

NEW



VS-R264 / VS-R265 ビデオストリーミング  
エンコーダー/デコーダー

NEW



BD-MP1 ブルーレイ/マルチメディアプレイヤー

## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

- BtoC製品  
創造・制作・配信までのワークフローをカバーする商品ラインナップにより、アマチュアからプロフェッショナルまでユーザーの実現したいコトを高品質ながら簡単操作でアシストするブランドを目指す。



DR-40X  
4トラックデジタルオーディオレコーダー/  
USBオーディオインターフェース



DP-24SD  
24トラック マルチトラック レコーダー



SERIES 208i  
オーディオインターフェース

## ■ 高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）、一般オーディオ機器（TEACブランド） - BtoC

事業規模は追求せず、国内外のオーディオファンをターゲットとした中高級機に特化した製品開発とマーケティング活動を継続することで、ブランド価値の向上と、一層の収益性改善を図る。

- 高級オーディオ機器  
主力であるSACDプレーヤーを軸に、ネットワークプレーヤー、アンプ等の拡充を図り、アジア等の海外市場を拡大。

### ESOTERIC



NEW

Grandioso K1X  
スーパーオーディオ CD プレーヤー



NEW

N-01XD  
ネットワーク オーディオ プレーヤー

- 一般オーディオ機器  
付加価値の高い新製品の開発、独自のアナログ関連製品の充実によりブランド価値の向上と収益改善を目指す。

### TEAC



NEW

AP-505  
Referenceシリーズ ステレオパワーアンプ



NEW

TN-4D  
ダイレクトドライブ アナログターンテーブル

## ■ 一般オーディオ機器（TEACブランド）

2020年6月11日に開業したエースホテル京都の客室に、ティアックのターンテーブルTN-300を214台が採用

2020年6月11日よりプレビュー期間としてソフトオープンしたエースホテル京都（所在地：京都市中京区車屋町245-2、全213室）にティアックのターンテーブルTN-300が採用されました。（TN-300は海外で展開しているモデルです。）

エースホテル京都は同日開業するNTT都市開発が行う、歴史的建築物（1926年竣工の旧京都中央電話局）の再開発プロジェクト「新風館」の中に位置し、世界的に著名な隈研吾氏監修により建築デザインされたものです。

全室共通で、日本を代表する染色アーティスト・柚木沙弥郎氏による作品が客室を飾り、天然の玄昌石のタイルを張った浴室、ミナペルホネンによるカーテン、ペンドルトン社のベッドブランケットなど、エースならではのインテリアで構成され、浴室のアメニティには環境にやさしいエースホテル京都オリジナルのukaのヘアケア商品、竹製の歯ブラシなどがセットされ、部屋に備え付けの湯呑は額賀章夫作、小皿は伊藤丈浩作のものを使用しています。

そして、エースホテルにとって大切なエレメントである「音楽を楽しむ」ための機材として客室にはティアックのターンテーブルが置かれ、お客様がアナログレコードの音をお楽しみいただけるようセッティングされています。

ご宿泊の際はバランスよく融合されたエースホテルの「美的哲学、アイデアと伝統」をお楽しみいただくとともに、ティアックのターンテーブルも合わせてお楽しみいただければと思います。

なお、ホテルのグランドオープンは、2020年後半を予定しています。



エースホテル京都公式サイト  
URL : [www.acehotel.com/kyoto](http://www.acehotel.com/kyoto)

## ■ 機内エンターテインメント機器 - BtoB

運用が開始されたポータブルビデオストリーミングサーバーを国内エアラインへ順次導入開始。海外エアラインへは、新型コロナウイルスが沈静化次第コンテンツプロバイダーとの戦略的協業のもと展開を進行中。



PS-V50 ポータブルIFEサーバー



### PortaCloud (専用クラウドサーバー) コンテンツ管理



同期

同期方法は3種

PortaCloud



アップロード

アップロード / ダウンロード

コンテンツプロバイダー

コンテンツ準備

- ポータル編集
- コンテンツ組込み
- アップロード

オフィス

コンテンツ更新

- コンテンツ最終形態確認
- 修正
- アップロード
- ダウンロード

## ■ 医用画像記録再生機器 - BtoB

新型コロナの影響があるものの、国内においては機器販売に加え、新規開発のウェブアプリを使った手術動画一元管理ソリューションの提案を進める。海外では、販売活動再開となり次第、欧米市場を始め、新興国市場への積極的展開を進める。



MV-1 内視鏡イメージレコーダー



UR-4MD メディカルビデオレコーダー



Surge One v2 手術映像記録システム

## 手術画像と手術・患者情報を一緒に管理



## ■ 計測機器 – BtoB

- データレコーダー  
新たに導入した戦略製品で自動車市場を、現行品で重工、鉄道、防衛の3分野を、それぞれ開拓。

NEW



LX-1000 シリーズ  
インテグレートドログガー



WX-1000 シリーズ  
ワイドバンドデータレコーダー



VR-24  
アナログビジュアルレコーダー

- センサー関連製品  
戦略商品であるデジタル指示計で国内外の新規顧客を獲得し、更にフィールドバス対応機種を導入することで製造現場のIoT化を推進。



TD-700T デジタル指示計



TD-9000T  
カラーグラフィックデジタル指示計



ロードセル